

科目名	クリエイションテクニック&デザインⅢ-A	整理番号	
学科	トップクリエイター学科	期	通年
コース	トップクリエイターコース		昼間
学年	3年	授業形態	講義 20 % 実習 80 %
時間数	112	作成者	宮田 共子

【科目の到達目標】

想像力と表現力を伸ばし、クリエイションを具現化する過程の中で作品制作のための縫製技術を修得する。

【科目の概要】

A(意匠)

特に感覚的な表現に特化した制作行う。

クリエイションを具現化する過程の中で作品制作のための縫製技術を学び、修得する。

【授業計画】

90分/コマ

前期

後期

1・2 プレタ作品

3・4 ↓

5・6 ↓

7・8 ↓

9・10 ↓

11・12 ↓

13・14 ↓

15・16 パリコレ展作品

17・18 ↓

19・20 ↓

21・22 ↓

23・24 ↓

25・26 ↓

27・28 ↓

29・30 ↓

31・32 上田学園コレクション作品

33・34 ↓

35・36 ↓

37・38 ↓

39・40 ↓

41・42 ↓

43・44 ↓

45・46 ↓

47・48 ↓

49・50 ↓

51・52 ↓

53・54 ↓

55・56 試験

【成績評価方法】

課題60%、試験30%、授業態度10%

【教科書・参考書】

上田安子『縫い方全書』服飾手帖社 改訂版

『スカート、ブラウス、ワンピース、ジャケット、テーラリングテクニック』上田安子服飾専門学校 最新版

【教材・教具】

縫製用具、実寸製図用具・トワール・シルクピン・メジャー・筆記用具・裁断はさみ等

科目名	クリエイションテクニック&デザインⅢ-B	整理番号	
学科	トップクリエイター学科	期	前期
コース	トップクリエイターコース		昼間
学年	3年	授業形態	講義 20 % 実習 80 %
時間数	60	作成者	宮田 共子

【科目の到達目標】

想像力と表現力を伸ばし、クリエイションを具現化する過程の中で作品制作のための縫製技術を修得する。

【科目の概要】

B(構造)

PARISコレ展示会にて世界のバイヤーに向けて、商談用展示会サンプルを作成する。

デザイン、工業用パターン作成、工場出しまで行い、生産プロセスと仕様を学ぶ。

【授業計画】

90分/コマ

前期

1・2	PARIS企画
3・4	↓
5・6	↓
7・8	↓
9・10	↓
11・12	↓
13・14	↓
15・16	↓
17・18	↓
19・20	↓
21・22	↓
23・24	↓
25・26	↓
27・28	↓
29・30	試験

【成績評価方法】

課題作品 10点の評価60 %、 期末試験 30% 授業態度 10 %

【教科書・参考書】

上田安子『縫い方全書』服飾手帖社 改訂版

『スカート、ブラウス、ワンピース、ジャケット、テーラリングテクニック』上田安子服飾専門学校 最新版

【教材・教具】

縫製用具、実寸製図用具・トワール・シルクピン・メジャー・筆記用具・裁断はさみ等

科目名	クリエイションテクニック&デザインⅢ-C	整理番号	
学科	トップクリエイター学科	期	後期
コース	トップクリエイターコース		昼間
学年	3年	授業形態	講義 20 % 実習 80 %
時間数	52	作成者	宮田 共子

【科目の到達目標】

想像力と表現力を伸ばし、クリエイションを具現化する過程の中で作品制作のための縫製技術を修得する。

【科目の概要】

C(技術)

オートクチュール技法によるジャケットを仕立てる過程で、高度な縫製技術を学ぶ。

【授業計画】

90分/コマ

後期

1・2	創作クチュール
3・4	↓
5・6	↓
7・8	↓
9・10	↓
11・12	↓
13・14	↓
15・16	↓
17・18	↓
19・20	↓
21・22	↓
23・24	↓
25・26	試験

【成績評価方法】

課題作品10点の評価60%、試験30%、授業態度10%

【教科書・参考書】

上田安子『縫い方全書』服飾手帖社 改訂版

『スカート、ブラウス、ワンピース、ジャケット、テーラリングテクニック』上田安子服飾専門学校 最新版

【教材・教具】

縫製用具、実寸製図用具・トワール・シルクピン・メジャー・筆記用具・裁断はさみ等

科目名	クリエイションテクニック&デザインⅢ-D	整理番号	
学科	トップクリエイター学科	期	後期
コース	トップクリエイターコース		昼間
学年	3年	授業形態	講義 20% 実習 80%
時間数	26	作成者	宮田 共子

【科目の到達目標】

想像力と表現力を伸ばし、クリエイションを具現化する過程の中で作品制作のための縫製技術を修得する。

【科目の概要】

D(意匠)新しい発想のクリエイション

新しい発想方法によるクリエイションを行う。

【授業計画】

90分/コマ

後期

- | | |
|----|---------------|
| 1 | 新しい発想のクリエイション |
| 2 | ↓ |
| 3 | ↓ |
| 4 | ↓ |
| 5 | ↓ |
| 6 | ↓ |
| 7 | ↓ |
| 8 | ↓ |
| 9 | ↓ |
| 10 | ↓ |
| 11 | ↓ |
| 12 | ↓ |
| 13 | 試験 |

【成績評価方法】

課題60%、試験30%、授業態度10%

【教科書・参考書】

上田安子『縫い方全書』服飾手帖社 改訂版

『スカート、ブラウス、ワンピース、ジャケット、テーラリングテクニック』上田安子服飾専門学校 最新版

【教材・教具】

縫製用具、実寸製図用具・トワール・シルクピン・メジャー・筆記用具・裁断はさみ等

科目名	パターンメイキングⅢ	整理番号	
学科	トップクリエイター学科	期	通年
コース	トップクリエイターコース		昼間
学年	3年	授業形態	講義 30% 実習 70%
時間数	112	作製者	上田安子パターン担当
【科目の到達目標】 基本パターンの製図からトワールチェックし工業用パターンを作成。各種デザインパターンへ理論的に展開トワールチェック、規格サイズの理解。既製のサイズ展開の基本知識を養う。			
【科目の概要】 基本パターンの製図からトワールチェックし工業用パターンを作成。各種デザインパターンへ理論的に展開トワールチェック後、パターン作成まで。基本のアイテムのサイズ展開の方法を習得する。			
【授業計画】 90分/コマ			
前期		後期	
1・2	●パターンメイキング概論	31・32	●メンズ
3・4	ジャケット:ゴージャードーツ、ダブルプレスト、サイドダーツ、	33・34	
5・6	●マニプレのジャケット	35・36	
7・8	トワール	37・38	
9・10		39・40	●キッズ
11・12	表地の工業パターン作成	41・42	
13・14	表襟・見返しパターン作成	43・44	●グレーディング
15・16	裏地(背抜き)・芯地の工業パターン作成	45・46	
17・18	ポケットの工業用パターン	47・48	●身頃続きの襟
19・20	実作	49・50	
21・22		51・52	●身頃続きの袖
23・24		53・54	
25・26		55	まとめ
27・28		56	試験
29・30	試験		
【成績評価方法】 完成パターン、立体においてのトワールの扱い・ピンの打ち方・デザインの表現力を課題表評価60% 試験30%、授業研究態度10%			
【教科書・参考書】 相尾純子 グレーディング、実物見本、プリント			
【教材・教具】 実寸製図用具・トワール・シルクピン・メジャー・筆記用具・裁断はさみ等			

科目名	クリエイションドローイングⅢ	整理番号	
学科	トップクリエイター学科	期	後期
コース	トップクリエイターコース		昼間
学年	3年	授業形態	講義 30% 実習 70%
時間数	26	作成者	田中 英子
【科目の達成目標】			
カリキュラム終了時にアパレルやコスチューム業界への就職対応のドローイング表現ができる。			
【科目の概要】			
アパレルやコスチューム業界で絶対必要なデザイン画を描く授業です。授業内容は教科書や配布するプリントを使用し黒板で重要ポイントを説明します。その後、各学生がデザイン画表現を行う。 製作するデザイン画は鉛筆描きや着色画材を使用し様々な表現を学ぶ。			
【授業計画】			
90分/コマ		後期	
1	9頭身応用編オリジナルボディのポーズ(メンズとレディス)		
2	ファッション・クロッキー		
3	早描き		
4	アイテム画表現 ボトムス		
5	アイテム画表現 トップス		
6	アクセサリー表現 帽子		
7	アクセサリー表現 靴		
8	アクセサリー表現 鞆		
9	トータルコーディネート表現		
10	加工指図書用のデザイン画表現		
11	加工指図書用のデザイン画表現		
12	創作ドローイング		
13	試験		
【成績評価方法】			
提出物評価60%、試験30%、授業態度10%			
【教科書・参考書】			
【教材・教具】			

科目名	クリエイションデザイン論ⅢーA	整理番号	
学科	トップクリエイター学科	期	前期
コース	トップクリエイターコース		昼間
学年	3年	授業形態	講義 40% 実習 60%
時間数	30	作成者	大槻 剛
【科目の到達目標】			
アパレルメーカーのデザイナーが行うトレンドの情報収集、リサーチ、ムードボード制作、サイズ設定、デザイン、プレゼンテーション、ポートフォリオの制作までの実務の習得を目指す。			
【科目の概要】			
就職に向けてMDからのシーズン企画内容をデザイナーとして展開し、資料の制作を行う。			
【授業計画】			
90分/コマ		前期	
1	大手アパレルメーカーのデザイン実務とは		
2	ブランドMDからの企画の提案の理解		
3	トレンドの情報収集		
4	リサーチ		
5	ムードボード制作①		
6	ムードボード制作②		
7	ムードボード制作③		
8	デザイン展開①		
9	デザイン展開②		
10	デザイン展開③		
11	プレゼンテーション		
12	ポートフォリオ制作①		
13	ポートフォリオ制作②		
14	ポートフォリオ制作③		
15	試験		
【成績評価方法】			
提出物評価60% テスト30% 授業態度10%			
【教科書・参考書】			
高村是州『スタイリングブック』株式会社グラフィック社、『QUOTATION』株式会社MATOI PUBLISHING			
【教材・教具】			
筆記用具、ノート、ケント紙、着色画材			

科目名	クリエイションデザイン論Ⅲ-B	整理番号	
学科	トップクリエイター学科	期	前期
コース	トップクリエイターコース		昼間
学年	3年	授業形態	講義 50% 実習 50%
時間数	30	作成者	山本 廣道

【科目の到達目標】

ファッション業界で独立し自身のブランドを立ち上げることでできる人材を育成する。一過性でなく長期に渡りブレない自身のテーマコンセプトを立案できるよう課題を設定し、服以外にもアート、カルチャー、音楽、映像、映画、建築などの事例を紹介する講義を行い、各テーマに即したデザイン画を提出。またプレゼン形式による発表も試み、今後の就職活動に対応させる。

【科目の概要】

時代の空気間と共に、トレンドやアイテムは変化する。ここでの演習は時代のキーワードとも言うべきテーマを各自が研究し、現時点での普遍的なデザインに落とし込むことを科目の概要とする。

【授業計画】

前期

90分/コマ

- 1 アプローチ・サンプリング・ポストモダン
- 2 LGBTQ・ダイバーシティ・ジェンダーレス
- 3 サステナビリティ・トランスペアレント
- 4 リサーチ①: 60-70年代の日本ファッション黄金時代
- 5 //
- 6 リサーチ②: 民族衣装とジャポニスム
- 7 //
- 8 リサーチ③: 企業コンプライアンス問題
- 9 //
- 10 リサーチ④: 単一ユニットとハードコンセプト
- 11 //
- 12 リサーチ⑤: 廃棄ロス問題
- 13 //
- 14 プレゼンテーション
- 15 試験

【成績評価方法】

課題評価点60%、期末試験30%、授業態度10%

【教科書・参考書】

高村是州『スタイリング・ブック』グラフィック社、文化出版局『ファッション辞典』

【教材・教具】

筆記用具、のり、はさみ、A4判ノート、コピックスマルチライナー、コピックスケッチ、ガッシュ着彩の用意

科目名	クリエイションデザイン論Ⅲ-C	整理番号	
学科	トップクリエイター学科	期	前期
コース	トップクリエイターコース		昼間
学年	3年	授業形態	講義 60% 実習 40%
時間数	30	作成者	大槻剛
【科目の到達目標】 クリエイティブデザインを考えるときに、衣服の変遷、アイテムの構造、アート、時代性を知ることが必須である。本科目ではこれらについての知識を修得し、「自分で調べ、考え、まとめる」ことをとおしてクリエイティブデザインを制作するための基礎を養成することを目標とする。			
【科目の概要】 独創的なクリエイションやデザインとビジネスラインとの連携について理解を深めるための講義と演習			
【授業計画】 90分/コマ			
	前期		
1	パリコレクション企画		
2	パリコレクション企画		
3	パリコレクション企画		
4	パリコレクション企画		
5	パリコレクション企画		
6	パリコレクション企画		
7	パリコレクション企画		
8	パリコレクション企画		
9	パリコレクション企画		
10	パリコレクション企画		
11	パリコレクション企画		
12	パリコレクション企画		
13	パリコレクション企画		
14	パリコレクション企画		
15	パリコレクション企画		
【成績評価方法】 提出物評価60%、試験30%、授業態度10%			
【教科書・参考書】 高村是州『スタイリング・ブック』グラフィック社、文化出版局『ファッション辞典』			
【教材・教具】 筆記用具、のり、はさみ、A4判ノート、コピックスマルチライナー、コピックスケッチ、ガッシュ着彩の用意			

科目名	ドレーピング	整理番号	
学科	トップクリエイター学科	期	後期
コース	トップクリエイターコース		昼間
学年	3年	授業形態	講義 20% 実習 80 %
時間数	52	作成者	上田安子パターン担当
【科目の到達目標】 各種デザインのディテールやシルエットを立体で表現するドレーピングの技術を習得。 服のフォルムに対しての感性を高める。			
【科目の概要】 立体製図(ドレーピング)技術を習得することで、スピード感や、新しい素材や難しいデザインに対応出来るスキルを獲得する。 ボディを使用した立体的裁断によりデザインを創作しながらパターンを作る技術、およびこれを平面パターンにする方法を学ぶ。			
【授業計画】 90分/コマ			
後期 1・2 ●ビスチェ 3・4 5・6 ●タイトスカート 7・8 ●フリル・ギャザー・カスケード 9・10 ●テーラードカラー 11・12 ●ギャザーブラウス 13・14 15・16 ●カウルネック 17・18 ●ツイストのブラウス 19・20 21・22 23・24 ●バックフリルのドレープスカート 25・26 試験			
【成績評価方法】 課題60%、試験30%、授業態度10%			
【教科書・参考書】 オリジナルプリント			
【教材・教具】 トワール、シルクピン、黒綿テープ、ボディーテープ、肩パッド、はさみ、メンディングテープ、カッター、製図道具、模造紙、製図用シャープペンシル			

科目名	縫製工学	整理番号	
学科	トップクリエイター学科	期	前期
コース	トップクリエイターコース		昼間
学年	3年	授業形態	講義 80% 小テスト 20%
時間数	30	作成者	相馬 成男
【科目の到達目標】			
アパレル製品の企画・設計、工業生産（縫製・プレス）、出荷に至る各工程では、デザイナー、マーチャンダイザー、パタンナー、縫製担当者、生産管理者、品質管理者など多くの専門技術者・技能者が携わっており、それぞれの業務の基礎知識と技術、もの作りに対する考え方が理解できる人材育成を目指し、社会へ出て自分を取り巻く関係者と円滑に意思疎通が図れることができることを目標とする。			
【科目の概要】			
専門学校では注文服（オートクチュール）作りを主体に履修するが、社会へ出ると既製服（プレタポルテ）が主流であり、工業生産的もの作りの道理、実務工程の知識を修得し、自分を取り巻く関係者と円滑に意思疎通が図れる技術者を養成するため、アパレル業・縫製加工業の役割、繊維製品の品質に関わる法律、JIS衣料サイズ、表素材・副資材の品質管理、工業パターン設計方法、縫製加工、生産工程管理・品質管理と原価計算を修得。			
【授業計画】			
90分/コマ		前期	
1	・縫製工学とは ・アパレル業と縫製加工業（Ⅰ）		
2	・アパレル業と縫製加工業（Ⅱ） ・衣服の品質に関わる法律（Ⅰ）		
3	・衣服の品質に関わる法律（Ⅱ）		
4	・JIS衣料サイズ		
5	・衣服の品質（Ⅰ）		
6	・衣服の品質（Ⅱ） ・原反検査（Ⅰ）		
7	・原反検査（Ⅱ）		
8	・副資材と付属品・・・芯地、接着芯地		
9	・副資材と付属品・・・裏地、縫い糸、ボタン、ファスナー、中入れ綿		
10	・工業用パターンと縫製仕様書 ・グレーディング		
11	・縫製準備工程		
12	・縫い目形式、工業用ミシン・縫合、工業用ミシン針		
13	・アイロン ・プレス		
14	・縫製工程の管理・・・生産システム、縫製工程表		
15	・縫製工程の管理・・・品質管理、原価計算		
【成績評価方法】			
平常点（出席率、授業態度）10%、理解力（小テスト）50%、試験40%			
【教科書・参考書】			
・『縫製工学』齋藤景一郎著 2版 上田学園服飾手帖社2015年3月1日発行			
【教材・教具】			
教科書（適宜配布資料）、筆記具			

科目名	コンピュータ演習 III-A	整理番号	
学科	トップクリエイター学科	期	前期
コース	トップクリエイターコース		昼間
学年	3年	授業形態	講義 20% 実習 80 %
時間数	30	作成者	於保 可那子
【科目の到達目標】			
Illustrator・Photoshopの技術向上と、就職に向けてのポートフォリオづくり、またはその技術を就職にアピールする。			
【科目の概要】			
自身のデザインワークの豊かさ、製作の選択肢を増やすために技術を習得する。			
【授業計画】			
90分/コマ		前期	
1	illustrator 応用・ペンツール教科		
2	主にハンガーイラスト		
3	↓		
4	↓		
5	↓		
6	マガジンデザイン		
7	↓		
8	↓		
9	↓		
10	↓		
11	デザインワーク		
12	↓		
13	↓		
14	↓		
15	試験		
【成績評価方法】			
提出課題(的確さ、完成度)70% 授業への取り組み態度30%			
【教科書・参考書】			
『縫製工学』齋藤景一郎著 2版 上田学園服飾手帖社2015年3月1日発行			
【教材・教具】			
教科書(適宜配布資料)・筆記具			

科目名	コンピュータ演習 III-B	整理番号	
学科	トップクリエイター学科	期	後期
コース	トップクリエイターコース		昼間
学年	3年	授業形態	講義 20% 実習 80%
時間数	26	作成者	安田 圭織
【科目の到達目標】			
CAD操作をある程度理解し、パターンメイキングをし、各自のデザインアイデアの道具として利用できる。			
【科目の概要】			
アパレルCAD (Computer Aided Design)とはコンピュータによる「パターン製作」などを行う機械、あるいはシステムのことを言い、時代に即した「アパレル生産」を極めるためには不可欠なものである。このシステムを理解し、ある程度の操作ができ、各自のアイデアに活用する。			
【授業計画】			
90分/コマ		後期	
1	タイトスカート縫製仕様書 (illustrator復習)		
	タイトスカートパターン作成 (PatternMagic)		
2	〃 製図 (表地、裏地) パターンチェック		
	〃 情報入力、縫代付け、マーキング		
3	〃		
	〃		
4	〃		
	〃		
5	フレアヨークスカート (タイトスカートからの展開)		
	〃 (表地、裏地)		
6	〃 工業用パターン		
	〃 情報入力		
7	〃 縫い代付け		
	〃 マーキング		
8	〃		
	〃		
9	〃・スカートの柄作り、柄入れ (illustrator)		
	〃		
10	〃		
	〃		
11	ピンタックをポイントにしたトップス		
	〃 スローパーからのデザイン展開		
12	〃 工業パターン作成 マーキング		
	〃		
13	まとめ		
【成績評価方法】			
提出課題 (的確さ、完成度) 70% 授業への取り組み態度 30%			
【教科書・参考書】			
『縫製工学』齋藤景一郎著 2版 上田学園服飾手帖社 2015年3月1日発行			
【教材・教具】			
教科書 (適宜配布資料)・筆記具			

科目名	映像実習Ⅲ	整理番号	
学科	トップクリエイター学科	期	前期
コース	トップクリエイターコース		昼間
学年	3年	授業形態	講義 20 % 実習 80 %
時間数	30	作成者	平原 栄治

【科目の到達目標】

映像表現に必要なソフトウェアを学習する。

作品発表のためのホームページを制作し、IT社会に対応するプロモーション技術を習得する。

【科目の概要】

現代のファッションビジネスに対応するため、基本的なソフトウェアの使い方を修得する。

講義を行い教員と同時進行でコンピューターを使用してそれぞれの課題を取り組み、

目的に合わせてソフトウェア選択し、使いこなせる。

【授業計画】

前期

90分/コマ

- 1 授業ガイダンス・写実実習
Google Chrome Adobe Photoshop等
- 2 ホームページ運営実習
Google Chrome Adobe Photoshop等
- 3 ホームページ運営実習
Google Chrome Adobe Photoshop等
- 4 プレタ展動画制作
Google Chrome Adobe Photoshop等
- 5 プレタ展動画制作
Google Chrome Adobe Photoshop等
- 6 プレタ展動画制作
Google Chrome Adobe Photoshop等
- 7 グラフィック・デザイン演習
Adobe Photoshop Adobe Illustrator
- 8 グラフィック・デザイン演習
Adobe Photoshop Adobe Illustrator
- 9 パリコレ制作実習
Powerpoint Adobe Premier 等
- 10 パリコレ制作実習
Powerpoint Adobe Premier 等
- 11 パリコレ制作実習
Adobe Premier Adobe Aftereffect等
- 12 パリコレ制作実習
Adobe Premier Adobe Aftereffect等
- 13 作品プロモーションまとめ
- 14 作品プロモーションまとめ
- 15 試験

【成績評価方法】

課題点70%、試験20%、授業態度10%

【教科書・参考書】

【教材・教具】

パソコン ・USBメモリー ・デジタルカメラ等

科目名	ファッションビジネス論Ⅲ	整理番号	
学科	トップクリエイター学科	期	前期
コース	トップクリエイターコース		昼間
学年	3年	授業形態	講義 80 % 実習 20 %
時間数	30	作成者	三谷 和也

【科目の到達目標】

ファッションをビジネスの観点から検証、分析、これからの業界を多角的（メディア、AI等）に考えて行ける人材になる。

【科目の概要】

世界から見た日本のファッション業界のあり方。これから目指さなければならないファッションビジネスの形。
アパレル業界で知っておかなければならない常識。

【授業計画】

90分/コマ 前期

- 1 アパレルにおける仕事の流れ 高度知識
- 2 川上、川中、川下の話 高度知識
- 3 テキスタイル産地の現状 高度知識
- 4 原料メーカ、専門商社 産地（デニムの知識）
- 5 5大コレクションと観察力トレーニング 高度知識
- 6 機能素材、機能ウエアーの話 高度知識
- 7 日本のファッション史 高度知識
- 8 アップサイクル時代 学生面談
- 9 VMDの話 実習
- 10 サピエンス全史から読み取る未来EX
- 11 ブランド作成 ブレインストーミング
- 12 店舗開発の話 基本パース作成
- 13 ブランドビジネスについての講義 高度知識
- 14 オートクチュールとプレタポルテのこれから
- 15 試験

【成績評価方法】

提出物評価30% テスト30% プレゼンテーション20% 授業態度20%

【教科書・参考書】

プリントを配布

（よくわかるアパレル業界） 椎塚 武署 ファッション業界戦略地図 ファッション蘊蓄辞典

【教材・教具】

筆記用具

科目名	英会話Ⅱ	整理番号	
学科	トップクリエイター学科	期	前期
コース	トップクリエイターコース		昼間
学年	3年	授業形態	講義 50% 実習 50 %
時間数	30	作成者	小川 彩美

【科目の到達目標】

簡単な言葉を用いて英語でコミュニケーションをとることに慣れ、臆せず自分の意思を伝える力を鍛えるべく、日常会話をベースにファッション用語や表現法を学び、ビジネスの場で対応できる生きた英語を習得する。

【科目の概要】

日常会話を中心に英語でコミュニケーションをとる。ファッション関連の語句や表現法を学び、ビジネスの場で対応できる会話などを習得する。書き取り、音読、暗誦、ロールプレイを使用する。

【授業計画】

前期

90分/コマ

- 1 オリエンテーション・リスニングスキル対策
- 2 基礎文法の復習①
- 3 基礎文法の復習②
- 4 基礎文法の復習③
- 5 接客用英会話
- 6 パリコレ用英会話①
- 7 パリコレ用英会話②
- 8 パリコレ用英会話③
- 9 パリコレ用英会話 ロールプレイング
- 10 プレゼンテーション準備①
- 11 プレゼンテーション準備②
- 12 プレゼンテーション発表
- 13 観光英会話
- 14 パリコレ英会話復習
- 15 試験

【成績評価方法】

ダイアログ、基本構文の暗誦等の表現能力60% 期末筆記テスト30% 授業態度と出席率10%

【教科書・参考書】

「ファッションを学ぶ人のための英語コミュニケーション
Forward Mode: English for Fashion Students(南雲堂)」

【教材・教具】

筆記用具(ノートとペン)

科目名	ニットデザインⅡ-A	整理番号	
学科	トップクリエイター学科	期	前期
コース	トップクリエイターコース		昼間
学年	3年	授業形態	講義 50% 実習 50 %
時間数	30	作成者	重本 昌利

【科目の到達目標】

ニットの基礎知識を有して、その知識を用いてオリジナルのニット製品を企画する事が出来る
ニットデザイナーの養成を目標とする。

【科目の概要】

現在市場で販売されるアパレル商品の中で、ニット製品の占める比率は大変多い。
また、カットソーとニットのドッキングなど、生地とニット両方の知識を有したデザイナーが必要とされている。
織生地と、ニット生地の違いを比較しながらニットの基礎知識の理解を深めていく。

【授業計画】

前期
90分/コマ

- 1 ニットの基礎復習
- 2 ニットの基礎復習
- 3 パリ企画編地企画
- 4 パリ企画編地企画
- 5 パリ企画編地企画
- 6 パリ企画編地制作
- 7 パリ企画編地制作
- 8 パリ企画編地制作
- 9 パリ企画編地制作
- 10 パリコレ作品縫製
- 11 パリコレ作品縫製
- 12 パリコレ作品縫製
- 13 パリコレ作品縫製
- 14 パリコレ作品縫製
- 15 試験

【成績評価方法】

課題評価50% 期末試験40%、平常点10%

【教科書・参考書】

【教材・教具】

A4用紙 縦型A4フラットファイル
SDS-ONE(ニットCAD) SES122-S 8G (コンピューター制御横編み機)

科目名	パリ研修	整理番号	
学科	トップクリエイター学科	期	後期
コース	トップクリエイターコース		昼間
学年	3年	授業形態	講義 10% 実習 90 %
時間数	60	作成者	宮田 共子

【科目の到達目標】

ファッションの源流であるヨーロッパで研修を行い、ファッションをグローバルな視点から捉えることを目的とする。

【科目概要】

ファッションウィーク中のPARISで研修を行う。パリコレクション公式展示会TRANOIにブランドUCFを出展し、展示会ブースにて海外バイヤーとの商談を実施する。期間中に開催されるパリコレのランウェイショーや展示会、トレードショーの視察、さらにPARIS市内のショップをリサーチし、国際的なファッション感覚を学ぶ。そのほか、PARIS市内の歴史的建造物や美術館、博物館などの見学を行い、文化的価値観や国際感覚を学ぶ。

【授業計画】

後期

90分/コマ

- 1・2 ・PARISについての事前リサーチ
- 3・4 ・10泊11日の研修参加
- 5・6 ・出展
- 7・8 パリコレクション公式展示会TRANOIにブランドUCFを出展し、
- 9・10 展示会ブースにて海外バイヤーとの商談を実施
- 11・12
- 13・14 ・インターンシップ
- 15・16 アンリアレイジ、ビューティフルピープルのファッションショーの
- 17・18 バックヤードスタッフとして現場研修。
- 19・20 ・トレードショー視察
- 21・22 TRANOI、premiere classで市場動向等の情報収集
- 23・24 ・PARISファッションウィーク
- 25・26 パリコレのランウェイショーや展示会の視察
- 27・28 ・美術館、博物館
- 29・30 ヴェルサイユ宮殿、アンヴァリット
- ・ストリートリサーチ
- マレ地区、モンマルトル地区、クリニャンクール、ヴァンプ、など
- ・研修参加後のレポートとリサーチプレゼンテーション

【成績評価方法】

- ・授業態度10%
- ・課題作品の仕上がり評価(レポートを100点満点で採点し平均点で評価)60%
- ・理解力(修業テストプレゼン)30% 以上を指導要項の認定要項に基づいて総合的に評価する

【教科書・参考書】

【指定用具・器具】